



被災時には、まず自分と家族の安全を守る「自助」を。そして、次の段階で、身近な方々の安全を守る「近助」＝「共助」がとても重要です。

安否確認訓練を行うことで、近隣の方々の顔を知り、普段から挨拶を交わせる良い関係を築きましょう。

小和田地区自治会連合会発行

倒壊写真出典：地震調査研究推進本部

■ 第5回 小和田地区安否確認訓練を実施

小和田地区安否確認訓練を5月30日(日)に実施致しました。昨年はコロナ禍の中、10月に延期して実施しましたが、今年は例年通りに実施。但し、まん延防止等重点措置の中、安否確認が出来ない方や要支援者への訪問は控えて、安否確認が出来た方の確認にとどめました。

本部を例年通りに小和田小学校に設営し、各自治会の代表者が詰め、午前9時より一斉に安否確認訓練を開始。各自治会からのランシーバーによる安否確認結果報告を待ちました。

プランヴェール湘南茅ヶ崎自治会を皮切りに、順次結果報告がなされ、午前11時30分の新宿自治会からの報告を最後に、6自治会全体の集計結果が出ました。

表1 安否確認訓練集計結果

自治会名	本宿	新宿	菱沼小和田	赤松町	赤松	プランヴェール 湘南茅ヶ崎	合計
確認世帯数	1,417	992	993	463	576	100	4,541
無事確認表示有	1,108	652	764	281	427	97	3,329
無事確認表示無	309	340	229	182	149	3	1,212
自治会内世帯数	1,600	1,020	1,113	539	570	100	4,942
安否確認割合	78.2%	65.7%	76.9%	60.7%	74.1%	97.0%	73.3%



小和田小学校本部

また、6月の自治会連合会において、ランシーバの有効活用法に関して本宿自治会防災防犯部副部長斉藤氏から、講習を受けました。今後の訓練において、本内容に基づき、改善を進めていくことが重要でしょう。特にアンテナの更新による電波状況の改善方法や一斉送信チャンネルに関しては必須です。

訓練後、各自治会から提出された写真と報告書を以下に掲載します。



本宿自治会本部



本宿自治会地区拠点

■本宿自治会

当自治会では、回答率78.2%でした。今年度は事前準備を工夫してスムーズに実施することができ、前回より一時間ほど早く本部へ報告することが出来ました。

訓練直後、役員全員による反省会を行い、「実際にどの程度の災害レベルで安否確認が必要となるのか？」が認知されていないなどの問題点があげられました。

より具体的に誰でも活用できる、活きたマニュアルの整備が急務であり今後の課題として提起されました。



新宿自治会「無事ですカード」

■新宿自治会

安否確認訓練を終えて、今回も貴重な声が沢山寄せられました。実際の災害発生時の避難場所や避難経路等を、訓練時にも周知して欲しい、集合住宅の方々の協力が得られ難いといった声でした。

防災及び安否確認訓練のポイントを簡単にまとめ、分かり易く繰り返し周知して、集合住宅の方々も含め、皆さんに参加して頂ける様にしていきたいと思います。

■赤松自治会

例年の事です、8時10分「震度5強の地震が発生、安全に避難できる方は黄色いハチマキを…」とハンドスピーカーで旧赤松自治会内を1巡、シエリアは9時に一斉館内放送をし、風岡副会長の指示のもと旧赤松は組単位に実際に起きた時の事を想定し、組長と防災リーダー又は役員の2名体制で確認に回った。

事前に回覧で知らせてあるせいか、確認はスムーズに終わったが中には放送がある前からハチマキを縛っている家庭も多く見受けられた。又、毎年課題になるが単身住まいのアパートが多いせいかハチマキやタオルの出ている世帯は少なかった。加えてアパートの集計作業に多少混乱をきたしたが、10時15分には無事終了した。

今後の課題としては事前連絡なしに朝1番で地震発生を伝えた時、どれほどの数、確認表示が出るのか実態に沿った訓練をしたい。



ハチマキ掲示状況



赤松自治会本部



事前説明会



赤松町自治会本部

■赤松町自治会

今年度の安否確認訓練は前年度の課題であった確認比率の向上を重要課題として計画立案しましたが、コロナ禍の蔓延防止等重点処置発令中の環境下で、人との接触をなるべく避けることに重点を置き安否確認訓練を実施した結果、前年度と比較して確認比率の向上は達成できませんでした。

事前説明会の招集規模を縮小したことと訪問確認を行わなかったことが主な要因となっており、コロナ禍に於いても災害発生時に安否確認を効果的に行える手法の策定が今後の課題となります。

尚、今年度はコロナ禍もありアパートの参加は見送りましたが来年度から、アパートの参加も計画し自治会内居住者全体を対象に安否確認訓練を実施していきたい。

■菱沼小和田自治会

今回は訓練の案内を周知するため早めにアナウンスしたため、「無事です」カードを出すのを忘れてしまう方が多かった。対策として訓練日の数日前に分かりやすい資料を作り各戸へポスティングすることにした。その効果もあり確認世帯数の割合を10ポイント以上向上することが出来た。但しマンションやアパートの住民への周知が行きわたらず今後の課題として残った。

安否確認訓練と併せて防災時に必要な備品の動作確認を行うため、大型のテントを張り、発電機を3台と新たに購入した充電機器の動作確認を実施した。また、釜炊き用の「まかない君」の点火手順も実習した。これらの作業には経験豊かな先輩方が参加して頂き、アドバイスを受けながら実習することが出来た。

あらゆるイベントが中止となり、経験できない我々にとって貴重な体験となった。今後もこのような訓練を実施していきたい。



菱沼小和田自治会報告訓練



菱沼小和田防災テント



プランヴェール湘茅ヶ崎自治会本部



各戸の確認プレート

■プランヴェール湘南茅ヶ崎自治会

当自治会は、自治会世帯数100戸とこじんまりした自治会であり、マンションという特性上、「安否確認訓練」への対応率も高(97%)、確認に要する時間も15分以内となりました。

今後茅ヶ崎市で想定される巨大地震は時間を選ばずやってくるでしょうから、シナリオ通りにはいかない事を心しなければなりません。更にマンション特有被害への対応も大きな課題です。

編集後記：ほぼルーティンと化した安否確認訓練ですが、実際の被災時との違いをどう疑似体験するかが、今後の課題でしょう。訓練は多くの方が体験してこそ、いざというときに役立つと思います。風岡記